

第65回 例会

ゼロビギナーと対話するとは

ことばを教えることが目的ではないなら、何が教室活動の目的なのか

細川 英雄さん（言語文化教育研究所）

申し込み不要

■ 日時 ■

2020年 3月15日（日） 15：00～17：00

■ オンライン開催 ※こちらに↓アクセス ■

<https://zoom.us/j/177963711>

参加費無料

当例会では『対話をデザインするー伝わるとはどういうことかー』（筑摩書房）の著者、細川英雄さんに日本語教育における対話実践についてお話しいただきます。2020年1月18日（土）に「多文化共生プロジェクト」主催により福岡で開催された「日本語教育に興味を持っている人のためのワークショップ「ゼロビギナーと対話する」とは？——細川さんに聞いてみよう！ことばを教えることが目的でないなら、何が教室活動の目的なのか。」とほぼ重なる内容を、東京周辺にお住まいの方のためにもう一度お話しいただくという趣旨のもとに当例会を開催します。近年、学校教育や国語教育など様々な教育の場で「対話」の実践が試みられています。日本語教育の現場でも、活動型の授業の一つとして、「対話」の実践に興味のある方、また実際に実践されている方もいらっしゃると思います。一方、現場の教師からの声でよく聞かれるのは、「ゼロビギナーに「対話」は無理」「中級～上級の学習者でないと、「対話」は難しい」というものです。はたして本当にそうでしょうか。そのように考えるとしたら、その考えの根拠はなんのでしょうか。「ゼロビギナー」は本当に対話ができないのでしょうか。細川さんのお話をもとに、みなで考える会にしたいと思います。

問い合わせ先: ALCE 企画委員会 Email:project@alce.jp



細川英雄 早稲田大学名誉教授、言語文化教育研究所八ヶ岳アカデメイア。博士(教育学)。早稲田大学大学院日本語教育研究科教授を経て言語文化教育研究所八ヶ岳アカデメイア主宰。ことばと文化の統合から始まり、国語と日本語の連携を経て、「よく生きる」ために言語教育に何ができるのかという観点から「ことばの市民」という概念を提案している。

